

2012年3月期 第1四半期 決算説明会

12. 3期は、14. 3期を最終年度とする13中計のファーストステップ。13中計の目標達成に向けアジアを中心にグローバルで事業基盤を構築する。

2011年8月9日
日本発条株式会社

	Page
・ 会社概要	3
・ 11. 3期決算実績	12
・ 12. 3期決算計画	15
・ 事業戦略	21

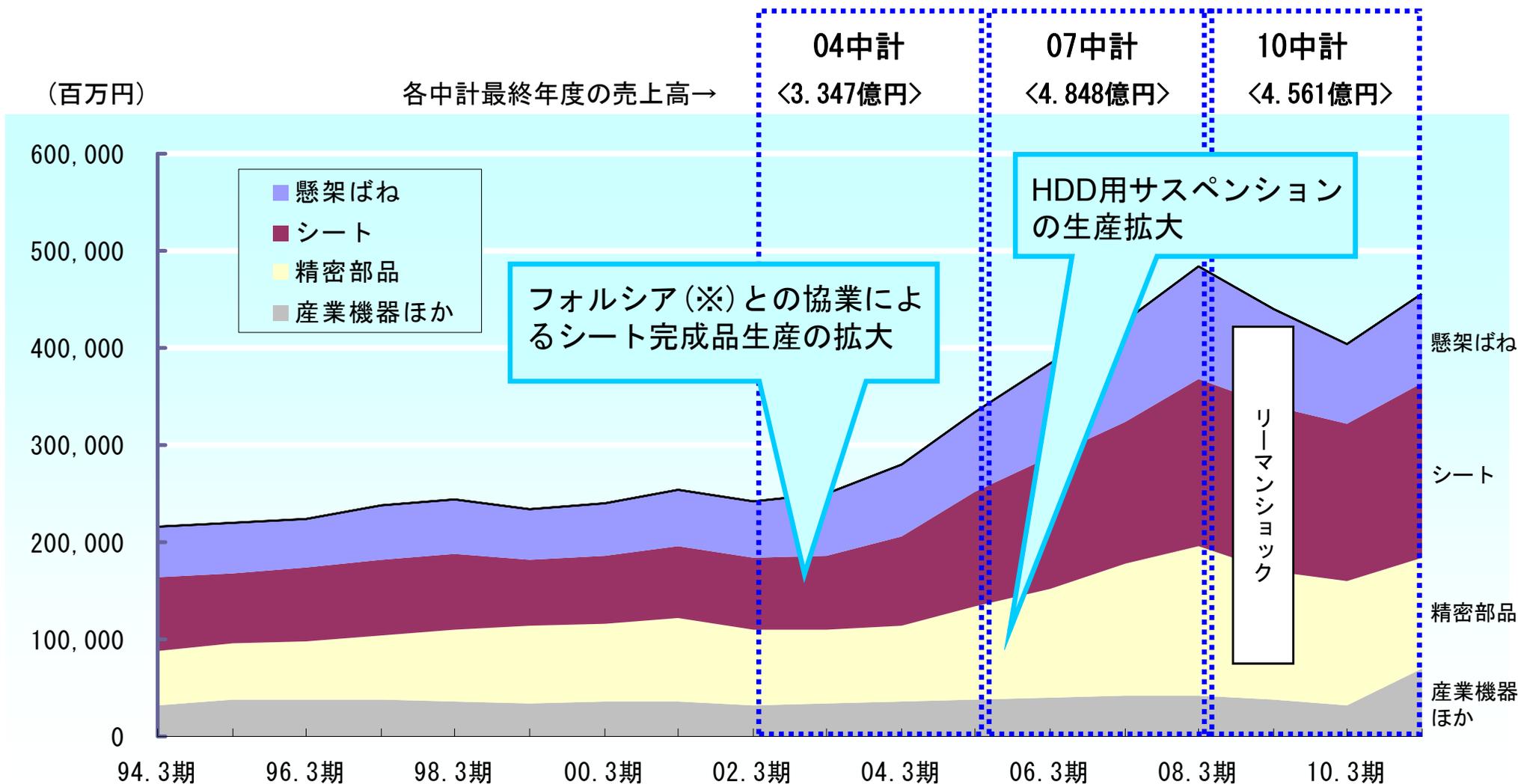


会社概要

～世界トップクラスのばねメーカー「ニッパツ」～

会社概要①

これまでのニッパツの歩み 売上が安定して推移



目標設定を毎年のローリングではなく、3年間固定するように変更し、より目標値を意識した経営に転換

※フォルシア：仏のシートメーカー。
共同で日産のシート完成品を受注。
2003年から納入を開始。

【注】11.3期よりセグメント内容を一部変更。
関連会社のセグメント区分の見直し等実施。

会社概要②

事業構造 自動車分野以外の事業の柱はHDD

- ・ 事業区分は4つ。事業分野は自動車分野、情報通信分野、産業・生活分野の3つ。
- ・ 自動車分野以外の事業の柱は精密部品事業の中のHDD関連。

事業区分	分野	主要製品	11.3期 売上割合
懸架ばね	自動車分野	板ばね、コイルばね、スタビライザ、トーショ ンバー、スタビライザリンク、ガススプリング、 スタビリンカーほか	20%
シート	自動車分野	自動車用シート、シート用機構部品、内装品ほ か	40%
精密部品	自動車分野	線ばね、薄板ばね、	25%
	情報通信分野	HDD用サスペンション、HDD用機構部品、 液晶・半導体検査用プローブユニット、精密加 工品ほか	
産業機器ほか	情報通信分野	ろう付製品、セラミック製品、ばね機構品、セ キュリティ製品	15%
	産業・生活分野	配管支持装置、駐車装置、ポリウレタン製品、 照明器具、ゴルフシャフトほか	
	全ての分野	金属ベースプリント配線板	

※HDD：ハードディスクドライブ

- ・ 事業区分別では、円高の影響はあるものの精密部品事業が常にトップ。
 (各中計の最終年度における為替の変動：107円→115円→85円)

事業区分	04中計最終年度 05.3期		07中計最終年度 08.3期		10中計最終年度 11.3期	
	営業利益 (百万円)	構成比	営業利益 (百万円)	構成比	営業利益 (百万円)	構成比
懸架ばね	2,197	12%	4,757	16%	7,197	22%
シート	4,815	27%	8,033	26%	9,302	28%
精密部品	8,141	46%	14,450	48%	12,278	38%
産業機器ほか	2,647	15%	3,114	10%	3,979	12%
合計	17,802	100%	30,356	100%	32,757	100%

【注】 11.3期よりセグメント内容を一部変更。
 関連会社のセグメント区分の見直し等実施。

会社概要④

主要海外拠点 北米、アジアを中心に展開

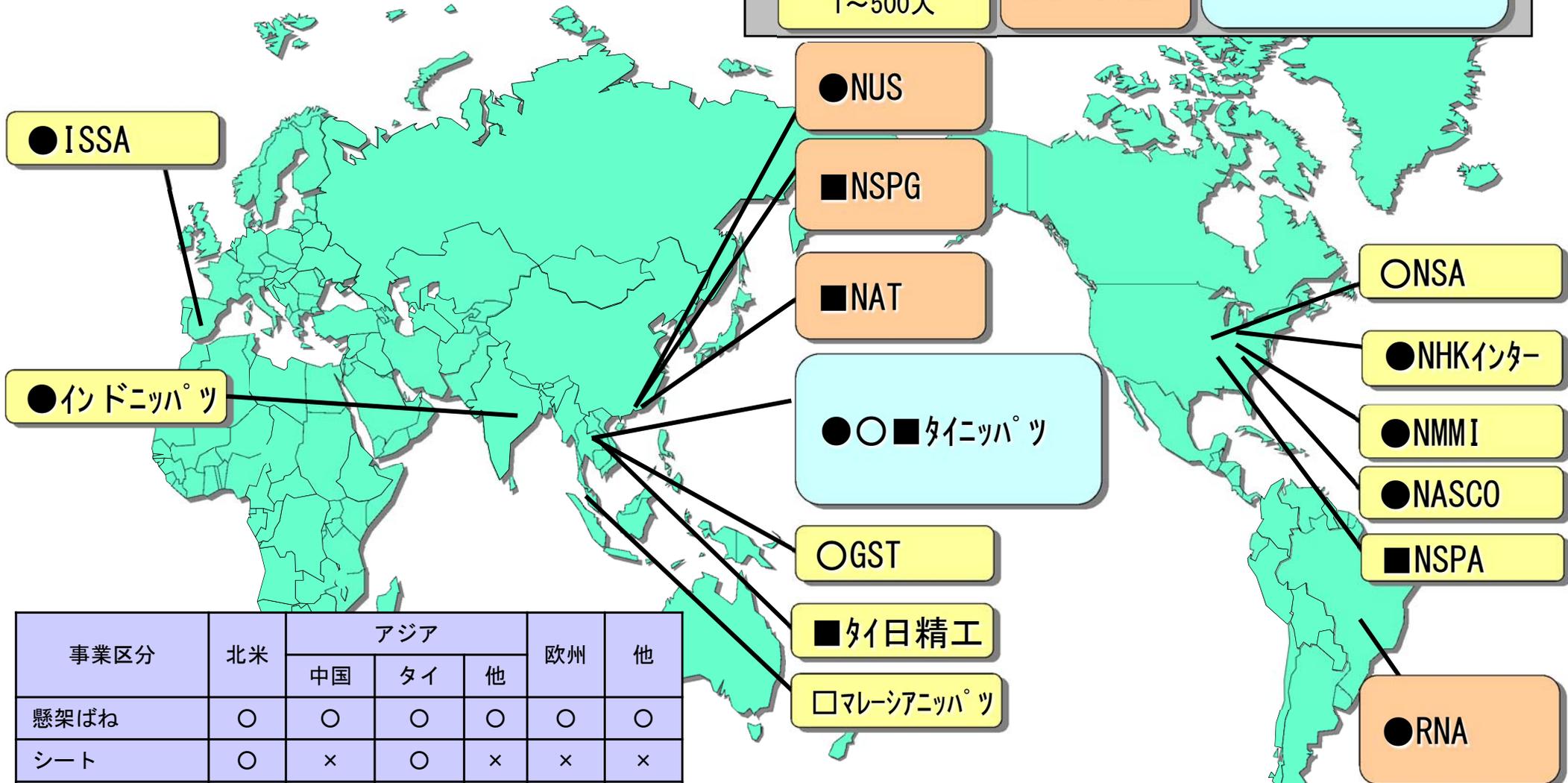
- 懸架ばね ○ シート
- 精密部品 □ 産業機器ほか

〈従業員数〉

1~500人

501~2500人

2500人~



事業区分	北米	アジア			欧州	他
		中国	タイ	他		
懸架ばね	○	○	○	○	○	○
シート	○	×	○	×	×	×
精密部品	○	○	○	×	×	×
産業機器ほか	×	×	×	○	×	×

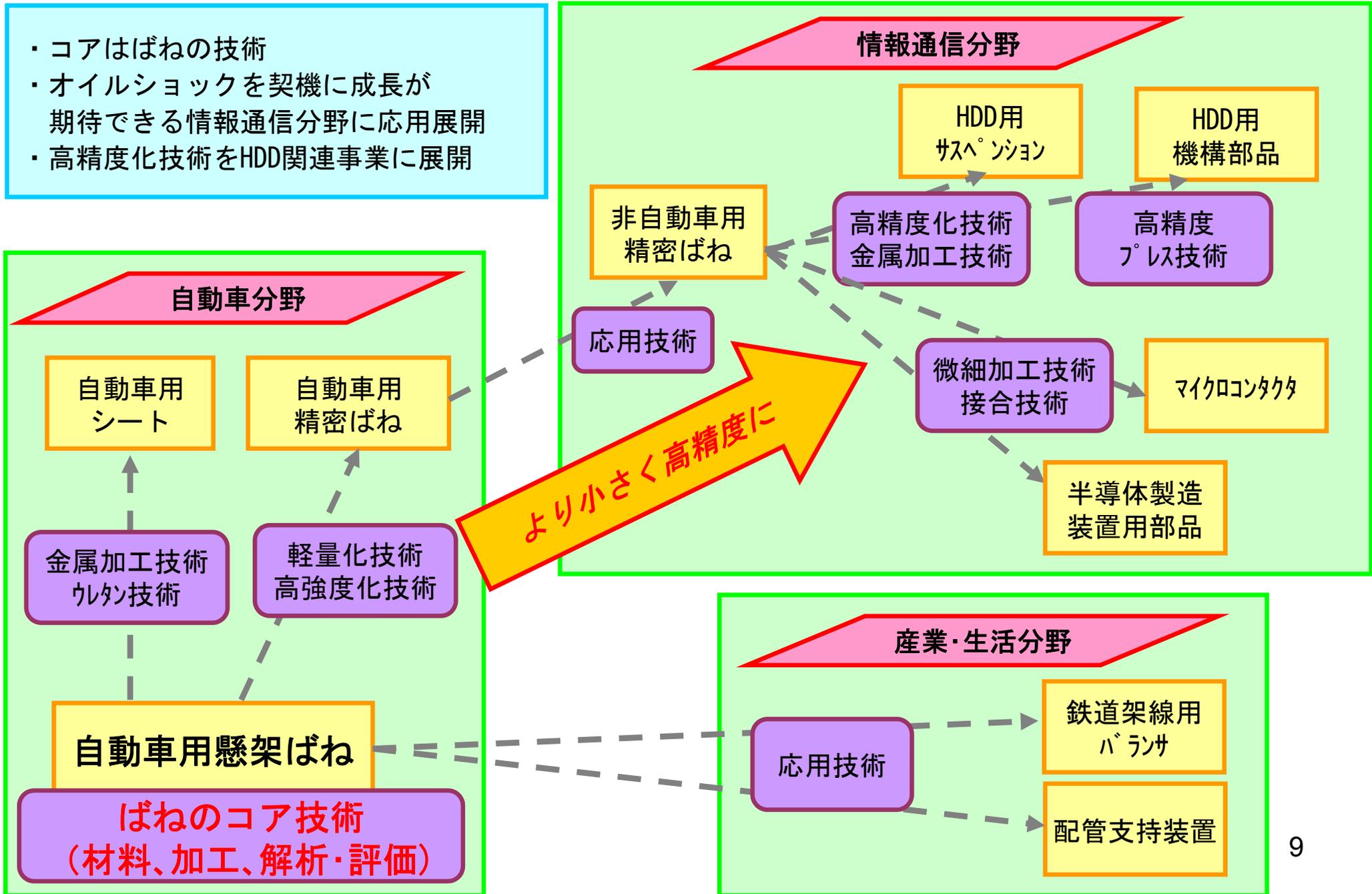
【注】 連結子会社、持分法適用会社

・ 地域別では、アジアの比率が6年間で3.6倍に増加。北米も黒字に転換。

地域	04中計最終年度 05.3期		07中計最終年度 08.3期		10中計最終年度 11.3期	
	営業利益 (百万円)	構成比	営業利益 (百万円)	構成比	営業利益 (百万円)	構成比
日本	14,461	80%	20,004	65%	17,678	54%
北米	-308	—	-418	—	1,657	5%
アジア	3,648	20%	10,769	35%	13,421	41%
合計	17,802	100%	30,356	100%	32,757	100%

会社概要⑥

自動車分野の技術を情報通信分野に応用展開



国内主要カーメーカーとは全て取引があり、売上は分散されている。→独立系の強み

主要カーメーカー	10.3期	11.3期	12.3期以降
トヨタグループ	18%	17%	<p>・当面は大きく変わらない見通し</p> <p>↓</p> <p>・欧米系メーカーとの取引拡大を図る</p> <p>・拠点現地カーメーカーとの取引獲得を図る</p>
日産グループ	13%	13%	
富士重グループ	13%	13%	
スズキグループ	6%	6%	
いすゞグループ	4%	5%	
ホンダグループ	4%	5%	
マツダグループ	2%	2%	
フォードグループ	1%	1%	
UDトラックス	1%未満	1%未満	
三菱ふそうトラック・バス			
三菱自動車グループ			

独立系の強みとは・・・

独立系メーカーの強みとは・・・

- 各カーメーカーと取引があり、開発トレンドを把握できる。
- 顧客ニーズを積極的に探索する。(顧客を大事にする)
- フレキシブルな部材調達ができる。
- 新規顧客開拓への制約が少ない。
- 自動車分野以外の分野への多角化を図っている。

◆独自の開発

- ・L型ばね(乗り心地向上)
- ・たる型ばね(省スペース化)
- ・アクティブヘッドレスト機構(むち打ち症対策)



L型ばね

◆材料メーカーとの共同開発による高強度、軽量化の実現

- ・高強度コイルばね
- ・中空スタビライザ

◆コア技術を軸に情報通信分野、産業・生活分野へ進出

- ・HDD用サスペンション
- ・マイクロコンタクタ(超微細ばね)



HDD用サスペンション

11. 3期決算実績

～営業利益は過去最高を更新～

11. 3期決算実績①

2011年3月期の決算実績の概要 (5/11開示済み)

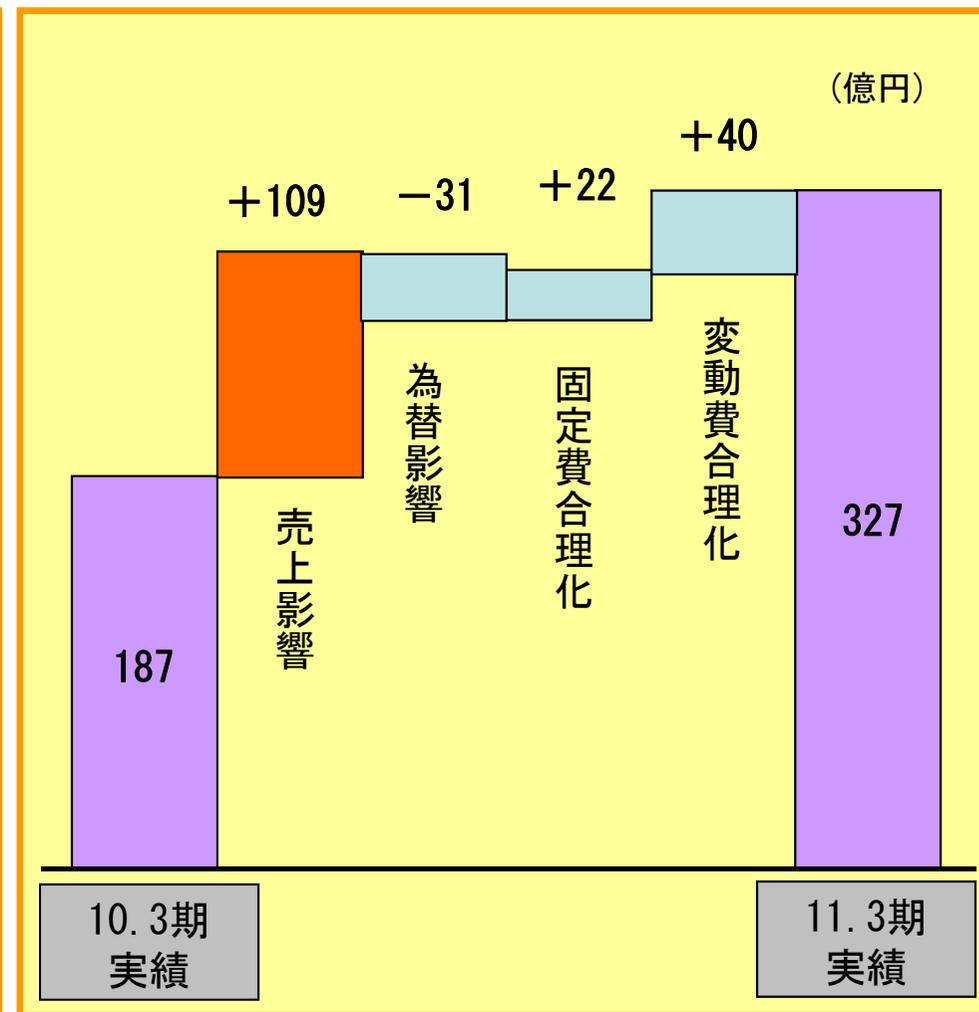
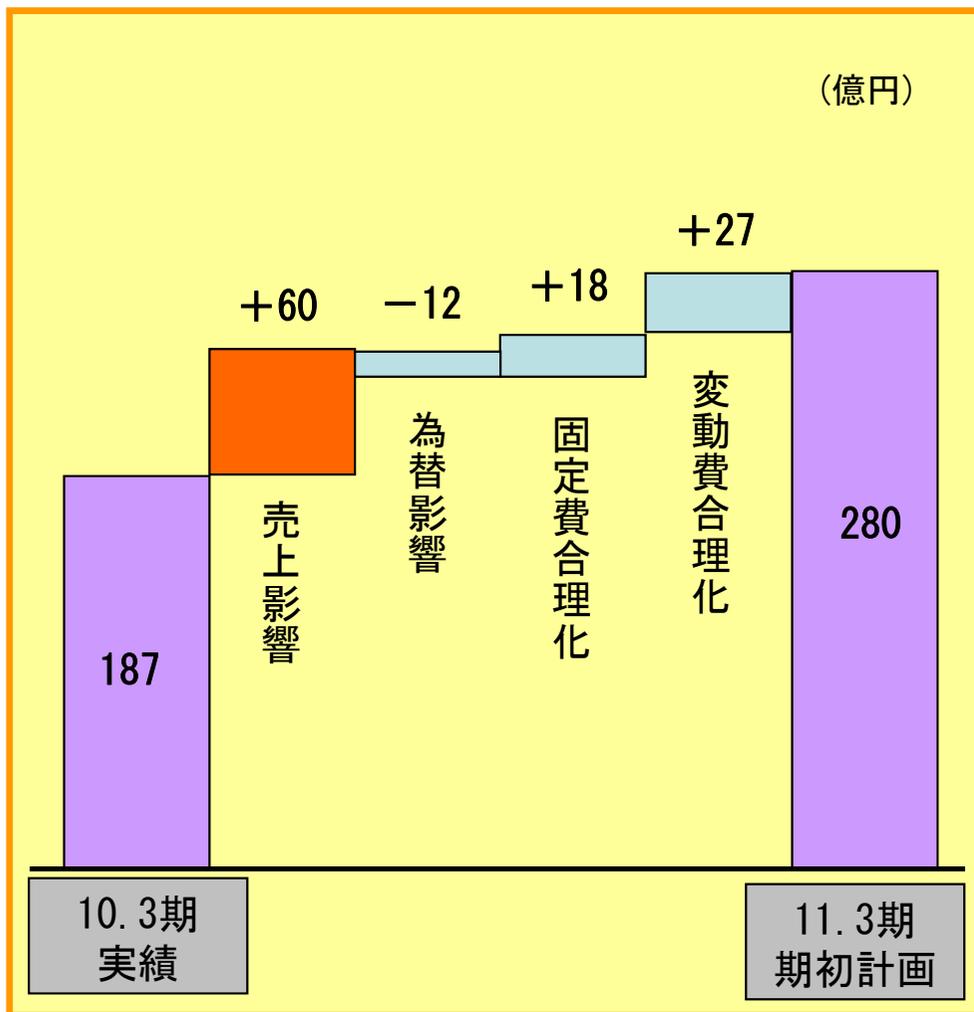
	10. 3期 実績	11. 3期 当初計画	11. 3期 実績	計画比
売上高	4, 041億円	4, 300億円	4, 561億円	+6. 0%
営業利益	187億円	280億円	327億円	+16. 8%
率	4. 6%	6. 5%	7. 2%	—
経常利益	176億円	280億円	334億円	+19. 3%
率	4. 4%	6. 5%	7. 3%	—
当期純利益	102億円	170億円	194億円	+14. 1%
1株当り利益	43. 45円	71. 89円	82. 44円	+14. 7%

2011年3月期の決算実績 サマリー

- ①自動車関連は、国内では震災の影響もあり当初計画より減少したが、海外ではアジアを中心に生産が拡大し、全体として好調であった。
- ②HDD関連は、当初計画どおり需要が順調に推移したことにより好調であった。

11.3期決算実績② 営業利益の変動要因分析

円高によるマイナスの影響は大きかったが、自動車関連、HDD関連共に、特にアジアでの大幅な売上の増加により、営業利益は当初計画を大きく上回った。



12. 3期決算計画

～売上はほぼ前年度並み、利益は減少～

12. 3期決算計画① 中期経営計画の振り返り

中期経営計画の定量目標と実績

(億円)	04中計 (03. 3期～05. 3期)			07中計 (06. 3期～08. 3期)			10中計 (09. 3期～11. 3期)			13中計 (12. 3期～14. 3期)		
	最終 年度 目標	最終 年度 実績	達成度	最終 年度 目標	最終 年度 実績	達成度	最終 年度 目標	最終 年度 実績	達成度	12. 3期 目標	13. 3期 目標	14. 3期 目標
売上高	2, 630	3, 347	+27%	3, 800	4, 848	+28%	6, 200	4, 561	-26%	4, 700	5, 100	5, 600
営業 利益	137	178	+30%	304	303	0%	470	327	-30%	380	430	520
率	5. 2%	5. 3%	—	8. 0%	6. 3%	—	7. 6%	7. 2%	—	8. 1%	8. 4%	9. 3%

主な 目標・ 実績

- ・グローバルアライアンスによる生産拡大[シ]
→フォルシアと合併会社設立
- ・グローバル市場での拡販[精]
→中国NSPG設立
- ・HDD業界での地位確立[精]
→中国NAT設立

- ・米国・アジアを中心とした投資とリターン確保
→フォルシア・ニッパツ九州増築(フォルシアとの合併会社)、タイニッパツ新工場建設[シ]
→米NSPA設立、タイニッパツHDD工場建設[精]

- ・グローバル戦略[シ]
→中国新会社2社設立、タイニッパツ新工場建設、NSA新工場建設
- ・HDDサスペンション世界シェア47. 5%以上[精]
→世界シェア43. 8%

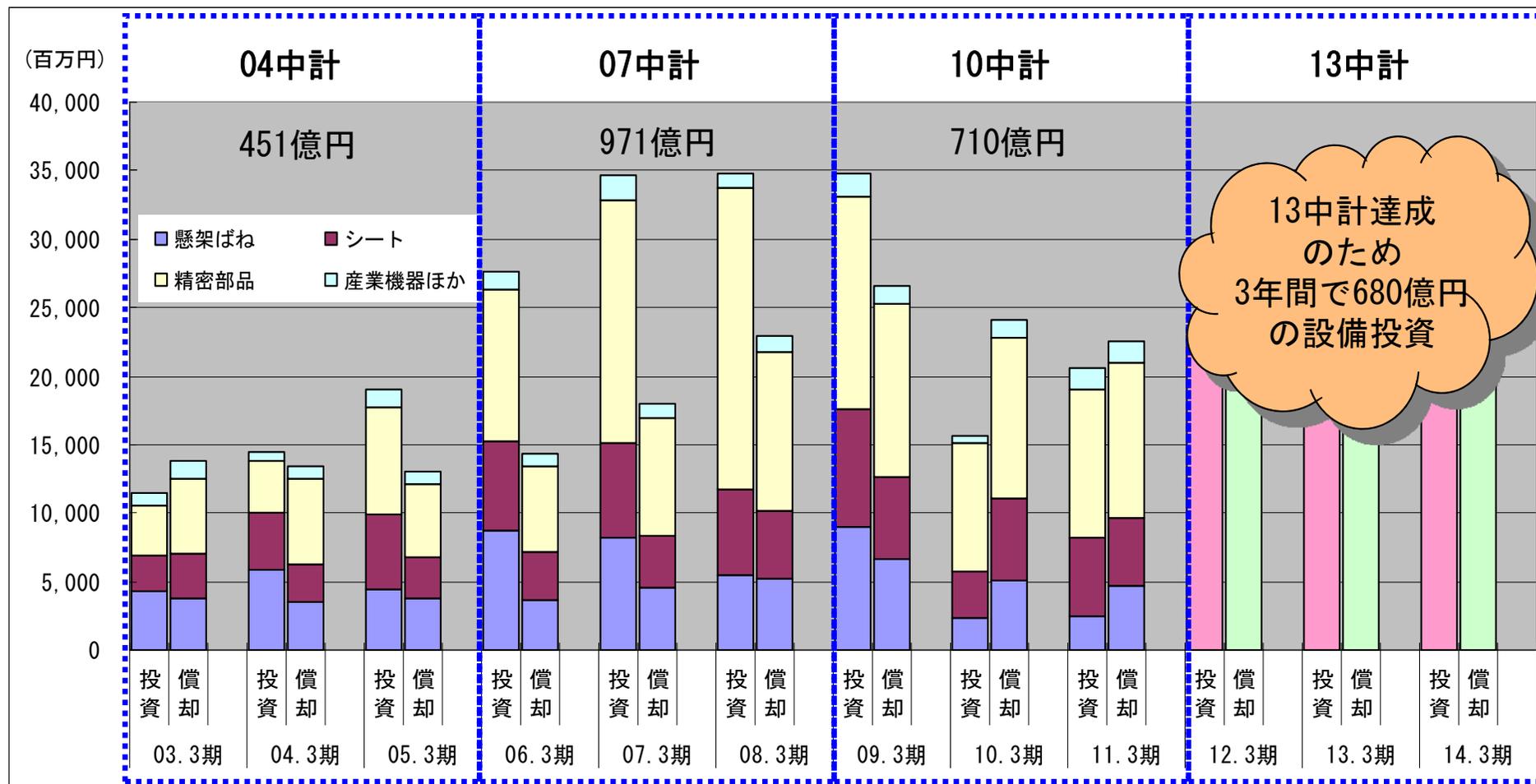
- ・新興国における拡販[ば]
- ・海外新拠点の立上げ[シ]
- ・海外メーカーへの拡販[精]
- ・HDDサスペンション世界シェアNo.1の地位確立[精]
- ・成長市場(半導体製造装置市場など)での売上拡大[産]

※[ば]:懸架ばね、[シ]:シート、[精]:精密部品、[産]産業機器ほか

12. 3期決算計画②

設備投資・減価償却費の推移

05. 3期から08. 3期は特にHDDサスペンション事業への設備投資が増加



主要な設備投資	<ul style="list-style-type: none"> ・北米NMMI社生産設備 ・HDDサスペンション生産設備 	<ul style="list-style-type: none"> ・タイニッパツ生産設備、シート新工場 ・HDDサスペンション生産設備 	<ul style="list-style-type: none"> ・滋賀工場生産設備 ・タイニッパツ生産設備 ・HDDサスペンション生産設備
---------	---	---	---

12. 3期決算計画③

2012年3月期の決算計画の前提条件

	11. 3期 実績	12. 3期計画		
		上期	下期	通期
【自動車関係】				
■国内自動車生産台数	899万台	380万台	560万台	940万台
【HDD関係】				
■HDD生産台数 (注)暦年ベース	651百万台	326百万台	339百万台	665百万台
■サスペンション総需要 (注)暦年ベース	2,296百万個	1,152百万個	1,181百万個	2,333百万個
■サスカウント (注)暦年ベース	3.53	3.53	3.48	3.51
■NHK計画数量	1,008百万個	462百万個	513百万個	975百万個
【その他】				
■為替レート US\$	85円	81円	79円	80円
■為替感応度 1円/US\$	4.3億円	1.7億円	1.8億円	3.5億円

12.3期決算計画④

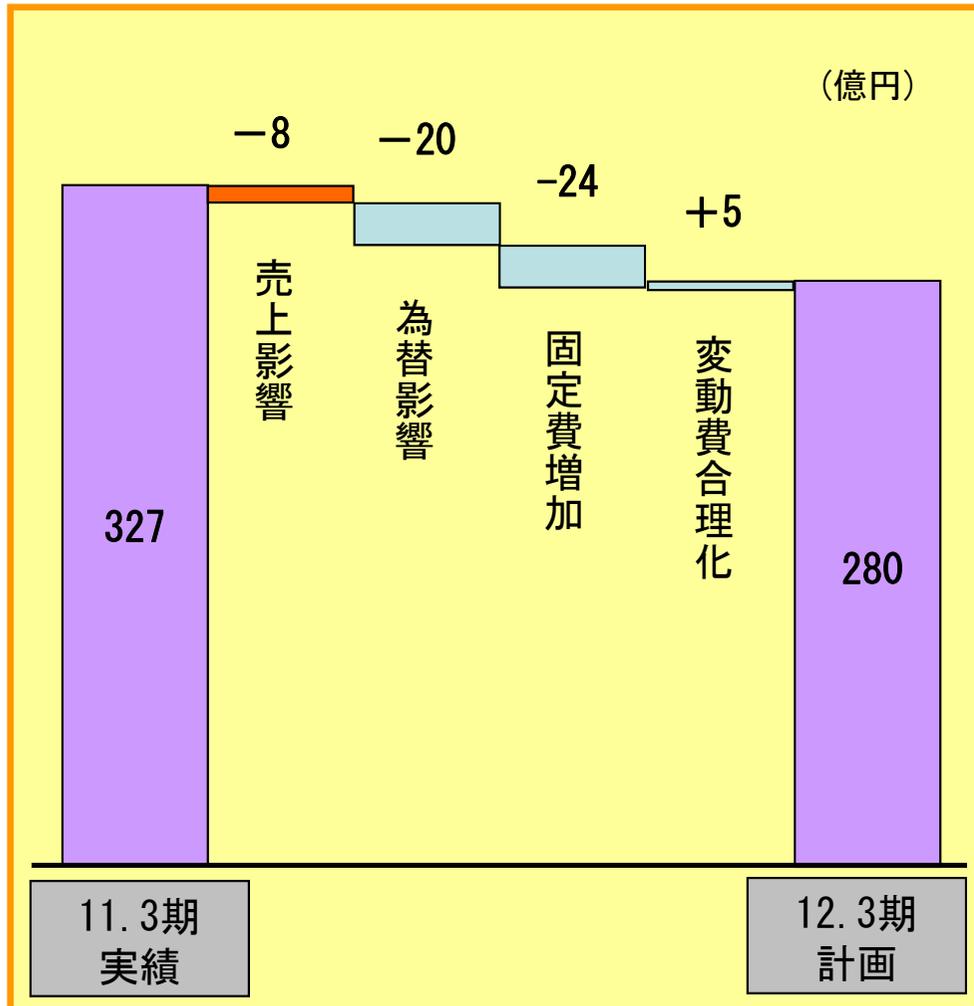
セグメント別の売上高・営業利益の状況

		11.3期 実績	12.3期計画			対 前期比
			上期	下期	通期	
懸架ばね	売上高	927億円	440億円	480億円	920億円	-0.8%
	営業利益	72億円	24億円	36億円	60億円	-16.6%
	率	7.8%	5.5%	7.5%	6.5%	-
シート	売上高	1,815億円	800億円	1,000億円	1,800億円	-0.8%
	営業利益	93億円	27億円	63億円	90億円	-3.2%
	率	5.1%	3.4%	6.3%	5.0%	-
精密部品	売上高	1,143億円	500億円	600億円	1,100億円	-3.8%
	営業利益	123億円	15億円	65億円	80億円	-34.8%
	率	10.8%	3.0%	10.8%	7.3%	-
産業機器 ほか	売上高	730億円	360億円	430億円	790億円	+8.2%
	営業利益	40億円	14億円	36億円	50億円	+25.7%
	率	5.5%	3.9%	8.4%	6.3%	-
消去/ 調整	売上高	-54億円	-20億円	-40億円	-60億円	-10.8%
	営業利益	-	-	-	-	-
	率	-	-	-	-	-
合計	売上高	4,561億円	2,080億円	2,470億円	4,550億円	-0.3%
	営業利益	327億円	80億円	200億円	280億円	-14.5%
	率	7.2%	3.8%	8.1%	6.2%	-

2012年3月期の決算計画 サマリー

- ①自動車関連(懸架ばね、シート、精密部品・産業機器ほかの一部)は、上期は震災の影響により減産となったものの、下期は回復から増産に転じる。このため売上はほぼ前年度並みになる見込みだが、利益は固定費の増加で前年度より減少する見込み。
- ②精密部品のうちHDD関連は、一部顧客の震災影響と業界再編の影響、円高の影響により、売上、利益ともに前年度より減少する見込み。

12.3期決算計画⑤ 営業利益の変動要因分析



・ 東日本大震災の影響により、自動車の生産が上期は減産となったものの、下期は回復から増産に転じるため、通期での売上はほぼ前期並みになる見込み。

・ 円高の進行と固定費の増加により利益は減少する見込み。

事業戦略

～アジアを中心に加速するグローバル展開～

事業戦略①

13中計のPoint

懸架ばね

- 新興国市場における市場拡大への対応

シート

- グローバル展開の推進
(海外新拠点の立上げ)

精密部品

- 海外メーカーへの拡販
- HDDサスペンションで世界シェアNo1の地位確立

産業機器ほか

- 成長市場での売上拡大
(半導体製造装置市場など)

		12.3期 計画	13中計(2010年11月策定)			
			12.3期	差	13.3期	14.3期
懸架ばね	売上高	920億円	930億円	-10億円	970億円	1,000億円
	営業利益	60億円	62億円	-2億円	70億円	80億円
	率	6.5%	6.7%	-0.2%	7.2%	8.0%
シート	売上高	1,800億円	1,830億円	-30億円	2,000億円	2,300億円
	営業利益	90億円	122億円	-32億円	132億円	160億円
	率	5.0%	6.7%	-1.7%	6.6%	7.0%
精密部品	売上高	1,100億円	1,300億円	-200億円	1,400億円	1,500億円
	営業利益	80億円	147億円	-67億円	160億円	180億円
	率	7.3%	11.3%	-4.0%	11.4%	12.0%
産業機器 ほか	売上高	790億円	700億円	90億円	800億円	880億円
	営業利益	50億円	49億円	1億円	68億円	100億円
	率	6.3%	7.0%	-0.7%	8.5%	11.4%
消去/ 調整	売上高	-60億円	-60億円	0億円	-70億円	-80億円
	営業利益	-	-	-	-	-
	率	-	-	-	-	-
合計	売上高	4,550億円	4,700億円	-150億円	5,100億円	5,600億円
	営業利益	280億円	380億円	-100億円	430億円	520億円
	率	6.2%	8.1%	-1.9%	8.4%	9.3%

市場環境

国内の自動車生産は伸びないが、海外では引き続き成長

2010年を100としたときの伸び率

	2011年	2012年	2013年	2014年
日本	+7%	+10%	+10%	+8%
欧州	+6%	+13%	+18%	+22%
北米（米、加、墨）	+15%	+26%	+33%	+38%
南米	+12%	+24%	+32%	+40%
タイ	+27%	+76%	+87%	+91%
中国	+9%	+18%	+26%	+33%
インド	+20%	+43%	+64%	+79%

中計での取組み

- ・ 新興国市場における売上拡大
- ・ 日系カーメーカー以外への拡販
- ・ 新たな加工技術による価格競争力の強化

12. 3期第1四半期の状況

- ・ 売上高 202億円 (22.0%)
- ・ 営業利益 10億円 (17.7%)
- ・ 営業利益率 5.2%

※ () 内は12.3期計画に対する進捗率

12. 3期以降の見通し

- 【増益要因】
 - ・ 自動車生産台数の回復～増産による売上増
- 【減益要因】
 - ・ 受注増による固定費増

市場環境

シートは、ばね、精密に比べ海外展開が遅れ

拠点の有無

事業区分	北米	アジア			欧州	他
		中国	タイ	他		
懸架ばね	○	○	○	○	○	○
シート	○	×	○	×	×	×
精密部品	○	○	○	×	×	×
産業機器ほか	×	×	×	○	×	×

中計での取組み

- ・ グローバル展開の推進
(新拠点立上げ：北米、中国、タイなど)

12. 3期第1四半期の状況

- ・ 売上高 347億円 (19.3%)
- ・ 営業利益 7億円 (8.6%)
- ・ 営業利益率 2.2%

※ () 内は12.3期計画に対する進捗率

12. 3期以降の見通し

- 【増益要因】
 - ・ 自動車生産台数の回復～増産による売上増
 - ・ 新拠点増加による売上増
- 【減益要因】
 - ・ 受注増による固定費増

市場環境

国内の自動車生産は伸びないが、海外では引き続き成長。HDDも成長。

		単位	2011	2012	2013	
自動車生産台数	海外メーカ	万台	4,875	5,269	5,750	
	日系メーカ	海外	万台	1,406	1,511	1,604
		国内	万台	954	980	996
		小計	万台	2,360	2,491	2,600
	総合計	万台	7,235	7,760	8,350	
HDD生産台数		百万台	679	720	805	

中計での取組み

- ・ 成長市場への展開(中国ほか)
- ・ 海外メーカーへの拡販
- ・ DSAによるHDD用サスペンションシェアの拡大

※DSA：デュアル・ステージ・アクチエータ

→従来のサスペンションより高精度のヘッドの位置決めが可能

12.3期第1四半期の状況

- ・ 売上高 236億円 (21.5%)
- ・ 営業利益 4億円 (5.0%)
- ・ 営業利益率 1.7%

※ () 内は12.3期計画に対する進捗率

12.3期以降の見通し

- 【増益要因】
- ・ 自動車生産台数の回復～増産による売上増
 - ・ HDD生産台数の増加による売上増
- 【減益要因】
- ・ 円高による利益減

市場環境

- ・ 半導体製造装置市場は成長局面

対2010年比 : 11年 25%増
12年 57%増
13年 70%増

中計での取組み

- ・ 半導体製造装置市場での拡販

12. 3期第1四半期の状況

- ・ 売上高 173億円 (25.3%)
- ・ 営業利益 6億円 (12.1%)
- ・ 営業利益率 3.5%

※ () 内は12.3期計画に対する進捗率

12. 3期以降の見通し

- 【増益要因】
- ・ 半導体製造装置市場以外の市場拡大
- 【減益要因】
- ・ 半導体製造市場拡大の鈍化による売上減

事業戦略⑥

海外事業(1) 北米

(億円)	売上高					営業利益					営業利益率				
	11.3期 実績	12.3期 計画	13中計			11.3 期 実績	12.3 期 計画	13中計			11.3 期 実績	12.3 期 計画	13中計		
			12.3期	差	14.3期			12.3 期	差	14.3 期			12.3 期	差	14.3 期
日本	3,266	3,350	3,350	0	3,620	176	180	216	-36	280	5.4%	5.4%	6.4%	-1.0%	7.7%
北米	437	370	400	-30	460	16	8	14	-6	20	3.8%	2.2%	3.5%	-1.3%	4.3%
アジア	1,050	1,020	1,150	-130	1,770	134	92	150	-58	220	12.8%	9.0%	13.0%	-4.0%	12.4%
消去/調整	-191	-190	-200	10	-250	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	4,561	4,550	4,700	-150	5,600	327	280	380	-100	520	7.2%	6.2%	8.1%	-1.9%	9.3%

設備投資関連

- ・ テネシー州にシート工場新設
(初期投資額：約27億円)
- ・ ケンタッキー州子会社敷地内に
自動車駆動用モーターコアの
工場新設
(初期投資額：約32億円)

- ・ 2011年度中に稼動開始予定。
初期投資ではシートのフレーム
を生産。順次受注品目の拡大を
図る。
- ・ 2011年度中に稼動開始予定。

(億円)	売上高					営業利益					営業利益率				
	11.3期実績	12.3期計画	13中計			11.3期実績	12.3期計画	13中計			11.3期実績	12.3期計画	13中計		
			12.3期	差	14.3期			12.3期	差	14.3期			12.3期	差	14.3期
日本	3,266	3,350	3,350	0	3,620	176	180	216	-36	280	5.4%	5.4%	6.4%	-1.0%	7.7%
北米	437	370	400	-30	460	16	8	14	-6	20	3.8%	2.2%	3.5%	-1.3%	4.3%
アジア	1,050	1,020	1,150	-130	1,770	134	92	150	-58	220	12.8%	9.0%	13.0%	-4.0%	12.4%
消去/調整	-191	-190	-200	10	-250	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	4,561	4,550	4,700	-150	5,600	327	280	380	-100	520	7.2%	6.2%	8.1%	-1.9%	9.3%

設備投資関連

- ・ 中国・襄陽にシート新会社設立
(投資額：約37億円)
- ・ 中国・広州にシート新会社設立
(投資額：約39億円)
- ・ タイ・イースタンシーボードに
シート新工場設立
(投資額：約11億円)

- ・ 2012年生産開始予定。
売上高約205億円(2013年時点)
- ・ 2012年生産開始予定。
売上高約83億円(2013年時点)
- ・ 2011年10月生産開始予定。
売上高約62億円(2012年時点)

さらに新しい事業展開を実施

インドニッパツ第2拠点の新設と現行工場の生産能力増強

現在、インドでは、当社連結子会社である日本発条インド株式会社（インドニッパツ）が、自動車用コイルばね、スタビライザを供給しているが、今後の需要拡大に対応するため、(1)第2拠点の新設、(2)現行工場の生産能力増強を行う。

(1) 第2拠点の概要

- ①インド南部スリシティー（チェンナイ近郊）に新設する
- ②敷地面積は、18エーカー
（約7万3,000平方メートル）
- ③生産能力は、コイルばね 330万本/年、
スタビライザ 150万本/年
- ④投資額は、7.22億円（ドル） -（約13億円）
- ⑤従業員数は、95名（2014年度時点予定）
- ⑥生産開始は、コイルばね2014年予定、
スタビライザ2015年予定

(2) 現行マネサール工場の生産能力増強の概要

- ①現行工場に新規コイルばね生産ラインを導入
- ②生産能力は250万本/年
（現在の570万本/年から830万本/年に）
- ③投資額は、1.82億（ドル） -（約3億円）
- ④生産開始予定は2012年10月

※12.3期業績への寄与はなし



中国投資性会社の設立

当社は、現在中国において8社の現地法人を有している。今後さらに市場が拡大すると予想される中国において、リスク事象に対しての適切な対応を図りつつ事業拡大を行うため、中国に統括会社を設立することとした。今後は、今回設立する新会社を中国内のグループ会社の地域本社として、財務、リスクマネジメントをはじめとした管理機能を強化し、中国でのさらなる事業拡大を行っていく。

<新会社の概要>

- | | |
|-------|---------------------------------------|
| ①会社名 | 日発(中国)投資有限公司(仮称) |
| ②設立時期 | 2012年春 |
| ③設立場所 | 中国・広東省広州市 |
| ④資本金 | 30百万米ドル |
| ⑤出資比率 | ニッパツ100% |
| ⑥従業員数 | 3人程度(当初) |
| ⑦事業内容 | 中国における投資対応、中国グループ会社の統括および管理支援、事業拡大支援等 |

- ・ ニッパツは、自動車分野、情報通信分野、産業・生活分野の3つの分野で、懸架ばね、シート、精密部品、産業機器ほかの4事業から成り立っている。
- ・ 東日本大震災の影響で、12.3期計画の発表を控えたものの、8月8日の第1四半期決算時に、通期業績の計画も発表。
- ・ 12.3期第1四半期は、震災による自動車の減産、HDDの減産、円高の影響により、売上高で前年同期比17.9%減の941億円、営業利益で前年同期比64.9%減の28億円、経常利益で前年同期比63.4%減の30億円、当期純利益で前年同期比44.1%減の26億円となった。
- ・ 12.3期計画は、売上高で前期比0.3%減の4,550億円、営業利益で前期比14.5%減の280億円となる見通し。
- ・ 決算発表と同時にインド市場での事業拡大、中国における統括会社の設立を発表した。

補足資料

補足資料①

2011年3月決算説明会資料より (売上)

	2009年度		2010年度		増減率	
	上半期	下半期	上半期	下半期	上-上	下-下
懸架ばね	340億円	433億円	462億円	449億円	36%	4%
シート	678億円	931億円	919億円	892億円	36%	-4%
精密部品	469億円	541億円	570億円	564億円	22%	4%
産業機器他	288億円	360億円	327億円	376億円	14%	4%
計	1,775億円	2,266億円	2,278億円	2,283億円	28%	1%
	2009年度		2010年度		増減率	
	上半期	下半期	上半期	下半期	上-上	下-下
日本	1,360億円	1,684億円	1,630億円	1,636億円	20%	-3%
北米	155億円	220億円	225億円	212億円	45%	-4%
アジア	328億円	467億円	521億円	528億円	59%	13%
消去	-69億円	-103億円	-98億円	-93億円		
計	1,775億円	2,266億円	2,278億円	2,283億円	28%	1%

	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度
売上高	4,848億円	4,409億円	4,041億円	4,561億円
営業利益	303億円	104億円	187億円	327億円
率	6.3%	2.4%	4.6%	7.2%
経常利益	313億円	129億円	176億円	334億円
率	6.5%	2.9%	4.4%	7.3%
当期純利益	203億円	52億円	102億円	194億円
1株当り利益	84.01円	21.98円	43.45円	82.44円

	2009年度			
	1Q	2Q	3Q	4Q
売上高	784億円	990億円	1,088億円	1,178億円
営業利益	-26億円	40億円	72億円	101億円
率	-3.4%	4.1%	6.7%	8.6%
経常利益	-24億円	33億円	72億円	94億円
率	-3.2%	3.4%	6.7%	8.0%
当期純利益	-16億円	24億円	50億円	44億円

	2010年度			
	1Q	2Q	3Q	4Q
売上高	1,146億円	1,131億円	1,164億円	1,118億円
営業利益	80億円	84億円	87億円	74億円
率	7.1%	7.4%	7.5%	6.7%
経常利益	83億円	79億円	88億円	83億円
率	7.3%	7.0%	7.6%	7.4%
当期純利益	47億円	47億円	58億円	41億円

補足資料④

2011年3月決算説明会資料より (貸借対照表)

	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度
総資産	4,009億円	4,010億円	3,248億円	3,571億円	3,560億円
総資産回転率	1.13回	1.21回	1.21回	1.19回	1.28回
棚卸資産	369億円	390億円	348億円	307億円	320億円
棚卸回転率	12.7回	12.8回	11.9回	12.3回	14.6回
自己資本	1,376億円	1,492億円	1,159億円	1,342億円	1,428億円
自己資本比率	34.3%	37.2%	35.7%	37.6%	40.1%
有利子負債	769億円	645億円	860億円	662億円	589億円
D/Eレシオ	55.9	43.2	74.2	49.3	41.3
純有利子負債	362億円	374億円	546億円	302億円	57億円
ネット D/Eレシオ	26.3	25.1	47.1	22.5	4.0

補足資料⑤

2011年3月決算説明会資料より (キャッシュフロー)

	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度
営業活動					
・税前当期純利益	277億円	345億円	96億円	153億円	309億円
・減価償却費	180億円	229億円	266億円	241億円	226億円
・法人税等支払	-99億円	-119億円	-89億円	-3億円	-70億円
・その他	85億円	-113億円	-47億円	37億円	66億円
計	443億円	342億円	226億円	428億円	531億円
投資活動					
・有形固定資産取得	-281億円	-346億円	-287億円	-163億円	-186億円
・その他	25億円	-2億円	-6億円	-15億円	-14億円
計	-256億円	-348億円	-293億円	-178億円	-200億円
財務活動					
・有利子負債増減	37億円	-93億円	238億円	-200億円	-62億円
・配当金	-22億円	-34億円	-34億円	-17億円	-33億円
・自己株式取得	-1億円	-1億円	-39億円	-1億円	-27億円
・その他	-4億円	-2億円	-7億円	-7億円	-11億円
計	10億円	-130億円	158億円	-225億円	-133億円
換算差額	6億円	-9億円	-34億円	5億円	-23億円
キャッシュフロー合計	204億円	-144億円	58億円	31億円	174億円

補足資料⑥

2011年3月決算説明会資料より (事業別セグメント)

(単位:億円)

分野別		2006年度	2007年度	2008年度	2009年度		2010年度
					旧セグメント	新セグメント	
懸架ばね	売上高	1,045	1,169	1,012	816	773	912
	営業利益	12	48	3	5	5	72
	率	1.2%	4.1%	0.3%	0.6%	0.7%	7.9%
シート	売上高	1,446	1,716	1,699	1,633	1,608	1,812
	営業利益	61	80	35	68	65	93
	率	4.2%	4.7%	2.1%	4.2%	4.1%	5.1%
精密部品	売上高	1,376	1,547	1,324	1,269	1,010	1,134
	営業利益	143	145	43	93	93	123
	率	10.4%	9.3%	3.3%	7.4%	9.2%	10.8%
産業機器他	売上高	414	416	374	323	648	703
	営業利益	35	31	22	21	25	40
	率	8.4%	7.5%	6.0%	6.6%	3.8%	5.7%
合計	売上高	4,280	4,848	4,409	4,041	4,041	4,561
	営業利益	251	304	105	188	188	328
	率	5.9%	6.3%	2.4%	4.6%	4.6%	7.2%

補足資料⑦

2011年3月決算説明会資料より (地域別セグメント)

(単位:億円)

分野別		2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度
日本	売上高	3,059	3,266	3,482	3,164	3,044	3,266
	営業利益	185	212	200	14	97	177
	率	6.0%	6.5%	5.7%	0.4%	3.2%	5.4%
北米	売上高	436	439	518	460	375	437
	営業利益	-17	-22	-4	2	6	17
	率	-4.0%	-4.9%	-0.8%	0.4%	1.7%	3.8%
アジア	売上高	479	727	999	912	795	1,050
	営業利益	49	61	108	88	85	134
	率	10.2%	8.4%	10.8%	9.7%	10.6%	12.8%
消去	売上高	-143	-150	-149	-127	-172	-191
合計	売上高	3,831	4,280	4,848	4,409	4,041	4,561
	営業利益	216	251	303	104	187	327
	率	5.6%	5.9%	6.3%	2.4%	4.6%	7.2%